

参加費
無料

大田区

災害時医療フォーラム

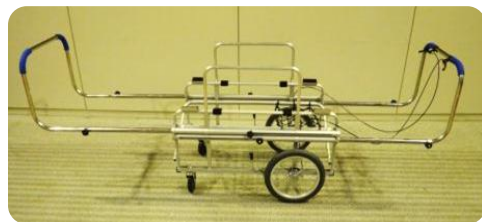
平成30年9月15日(土)

大田区障がい者総合サポートセンター
5階多目的室

プログラム

防災展示 13:30~16:30
(車輪付き担架の操作体験など)

開演 14:00



第一部 講演会 (90分)

- ・ 小井土 雄一氏 『被災地の医療現場の実態と地域住民に期待すること』
(日本DMAT事務局長)
- ・ あんどう りす氏 『アウトドアから学ぶ防災講座』
(アウトドア流防災ガイド)

第二部 参加者との意見交換 (30分)

- ・ 区の災害時医療対策について (大田区災害時医療担当課長)
- ・ 意見交換 (各講師、区防災危機管理課長、災害時医療担当課長)

※一部・二部コーディネーター松本 賢芳氏 (大森赤十字病院 医療社会事業部長)

閉演 16:30

※テーマは変更とある場合がありますので
ご了承ください。

◆主催 大田区 ◆問い合わせ先
大田区 健康医療政策課 地域医療政策担当(災害時医療)
電話03-5744-1264 FAX 03-5744-1523 メール hokenjo@city.ota.tokyo.jp

○小井土 雄一（こいど ゆういち）氏

独立行政法人国立病院機構災害医療センター
臨床研究部長・救命救急センター長
厚生労働省医政局災害対策室DMAT事務局長



○あんどろ りす氏

阪神・淡路大震災被災体験者でアウトドアの知識を活かし、
2003年より全国で講演活動を開始している。
2017.2018 神奈川県座間市で子育てむけ防災アドバイザー



○松本 賢芳（まつもと まさよし）氏

大森赤十字病院 医療社会事業部長
日赤災害医療コーディネーター
大田区災害医療コーディネーター



ご存知ですか？

- ・ **区内で大地震発生後、概ね72時間は病院の敷地内（院外）などに救護所**を設置します。
- ・ 救護所には、地域の医師、薬剤師、柔道整復師などが集まり、傷病者が院内に殺到し、混乱しないようトリアージ（傷病者の重症度の選別、治療の優先順位付け）を行い軽症者を治療します。



大田区障がい者総合サポートセンター 5階多目的室
（さぽーとぴあ）

〒143-0024 大田区中央4-30-11
・大森駅西口より徒歩15分
バス

**※会場には、駐車場及び駐輪場がございません。
公共交通機関をご利用ください。**



大田区障がい者総合
サポートセンター
（さぽーとぴあ）